

第15回 トラック輸送における
取引環境・労働時間改善
東京都地方協議会

今後の東京都地方協議会における取組について

令和5年12月

トラック輸送における取引環境・労働時間改善

東京都地方協議会 事務局

- 来年度以降は、労働時間規制がスタート
- 当該規制の中で輸送手段(特にドライバーの人員)を確保するべく、その原資たる適正運賃の収受、価格転嫁がより喫緊の課題
- 適正運賃の収受、価格転嫁、労働環境の規制遵守といった点に係る運送事業者、荷主双方の取組事例並びに荷主と運送事業者、荷主同士、運送事業者同士のパートナーシップの好事例等について、横展開や深掘りしていくことを視野に執り行う

※トラック運転者の長時間労働改善に向けたポータルサイト(<https://driver-roudou-jikan.mhlw.go.jp>)



令和6年度以降の東京都地方協議会の取組について(案)

東京都地方協議会

<重点取組事項> 「物流の現状」や「労働時間改善」に向けた周知PR・検証事業とKPI検証事業を実施。

- 【概要】
- ・ 時間外労働上限規制や改善基準告示の遵守や労働条件の改善に向け、今年度からは輸送分野全般を対象とする。
 - ・ 時間外労働の上限規制への対応には、物流の現状や更なる改善事例等の把握等による改善事業への取り組みが重要である。
 - ・ トラック運送事業者のみならず荷主も含めた周知活動や、これまでの取組等による定期的な効果検証も重要である。
 - ・ 上記の観点から次年度の取組の2つの柱を「改善・KPI検証事業」、「周知PR事業」とする。

| 2024年度 | 2025年度～ | KPI | 備考 |
|---|---------|--|----|
| <p>検証・KPI検証事業</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> トラック運送事業者に対する定点調査でKPIの変化を確認・検証 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> トラック運送事業者(輸送分野全般)に対するアンケート調査の実施 ✓ KPI指標の把握 ✓ 時間外労働上限規制・改善基準告示の遵守状況等 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> トラック運送事業者・荷主企業に対する改善事例のヒアリング調査の実施 ✓ 改善事例の把握、水平展開 ✓ 調査結果をもとにした事例集等リーフレットの作成等 </div> | | <p>【目標】 輸送分野全般に従事するドライバーの労働条件等の改善</p> <p>◎労働条件の改善 ※上限規制・改善基準告示の遵守状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 労働時間 ・ 荷役作業時間 ・ 手荷役作業 ・ 付帯作業 ・ 賃金水準 | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> セミナー・シンポジウム等による周知 ✓ 標準的な運賃／自主行動計画／新法制等 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> トラック運送事業者および荷主企業に対する周知PR </div> <p>周知PR事業</p> | | <p>◎運賃・料金の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運賃水準 ・ 荷役作業料金 ・ 付帯作業料金 ・ 待機時間料金 | |

令和5年度以降の東京都地方協議会の取組みについて(案)

令和5年度東京都地方協議会重点取組事項PDCAシート

○労働時間改善に向けた周知PR及びKPIによる効果検証

○重点取組事項概要

昨年度から継続し「紙・パルプ(洋紙・板紙)」の分野を対象に、時間外労働の上限規制への対応に向け、アンケート調査及びヒアリング調査による物流の現状や更なる改善事例等の把握し、その現状や結果等を周知PRする。また、取引条件の改善には、トラック運送事業者のみならず荷主も含めた理解と協力が重要であるため、これまでの取組等による定期的な効果検証に取り組む。

○KPI

[1]労働条件の改善

2024年度までに、労働時間、荷役作業時間、手荷役作業時間、付帯作業時間、賃金水準について定点観測を行い、各指標とも令和4年度調査に比して改善を目指す。

[2]運賃・料金の改善

2024年度までに、賃金水準、荷役作業料金、付帯作業料金、待機時間料金について定点観測を行い、各指標とも令和4年度調査に比して改善を目指す。

○重点取組事項の取組状況

令和5年9月～10月に、トラック輸送における長時間労働の改善等に向け、令和2年5月に発出された、「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン～紙・パルプ(洋紙・板紙)分野物流編」について、当該ガイドラインに掲載されている長時間労働の改善事例に対する、発荷主・着荷主・運送事業者の取り組み状況を把握し、今後の課題等を洗い出し、問題解決の際の検討資料とすることを目的としてアンケート調査を実施。

【KPIの達成状況(令和5年度)】

令和4年度に実施したアンケート調査にて、当該時点での「労働条件」「運賃・料金」の現状データを収集。令和5年度に実施したアンケート調査にて、その改善度合いを検証。

○課題及び今後の対応の方向性

アンケート調査結果では、1割弱の運送事業者で長時間労働が発生しているが、前年(約4割)と比較し減少している。ドライバーの労働時間が減少しており、荷待ち時間、荷役時間は減少、手荷役作業や付帯作業も削減するなど、自社努力や荷主の協力により、長時間労働の状況は改善されつつあることがわかった。

また「労働時間短縮への対策を講じている」との回答は、発・着荷主とも増加しており、荷主の積極的な姿勢がうかがえる。それに比べて運送事業者は対策を講じられないとの回答がみられ、その原因として、発荷主による荷待ち時間の発生などが挙げられた。紙・パルプ輸送業界における長時間労働の改善には、荷主の協力が不可欠であり、今後はさらに、発荷主、着荷主ら、運送事業者が一体となって、紙・パルプ輸送における長時間労働の実態の改善に向けて協力して取り組んでいくことが課題と確認できた。

令和6年度は、紙・パルプ輸送のみならず輸送分野全般を対象に、荷主、運送事業者に対するヒアリングやKPI確認のためのアンケート調査を実施する。